

ババガレイ



生態的特徴等

【生態】

日本においては北海道全沿岸、青森県～千葉県外房の太平洋沿岸、神奈川県三崎、愛知県沿岸、青森県～対馬の日本海沿岸に分布する。生息水深は 50m～450mとされ、本県による調査では水深 80m～350m から得られている。主漁場は底質が岩礁の点在する細砂～粗砂主体の海域に形成される。成魚は主に多毛類、イソギンチャク類、甲殻類を食べる。

東北地方太平洋岸では、雌雄ともに2歳で体長 16 cm、3歳で 20 cm、4歳で 23 cmに達する。また、最高年齢では雄で 18 歳、雌で 23 歳まで確認されている。同海域の産卵期は3～4月である。

【漁法と盛漁期】

主に底曳網で2月～6月を中心に漁期（9月～翌年6月）を通して周年漁獲されるほか、曳釣や固定式刺網（建網）でも漁獲される。

【利用】

旬は夏から冬とされる。主な調理法は煮付けであり、刺身で食されることもある。

資源水準は低位、動向は減少傾向

（漁獲量）本県における漁獲量は、H7年から増加し、H10年からH18年には、H11年の21トンを除くと30トン～45トンとなったが、H19年には急激に減少し、11トンとなった。その後、H21年～H26年は20トン～27トン、H27年、H28年は共に47トンを超えるなど再び増加したが、以降は減少に転じ、R4年は47トンと急増したものの、R7年は3トンとなっている(図1)。

（水準と動向）資源水準は、過去の底曳網の漁獲量から計算した CPUE (kg/隻, 日) の推移(図2)から「低位」、動向は直近5年間の CPUE の傾向から「減少」とした。

水準



動向

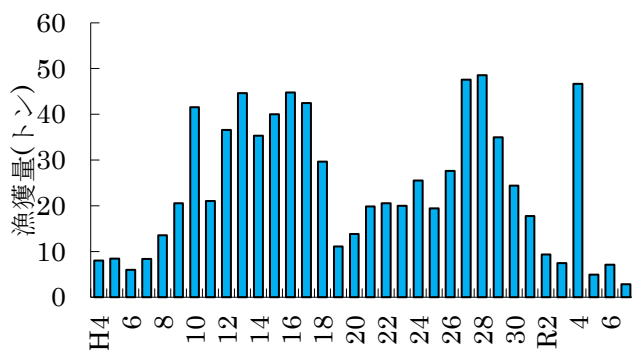


図2 ババガレイの漁獲量(属地、水試システム)

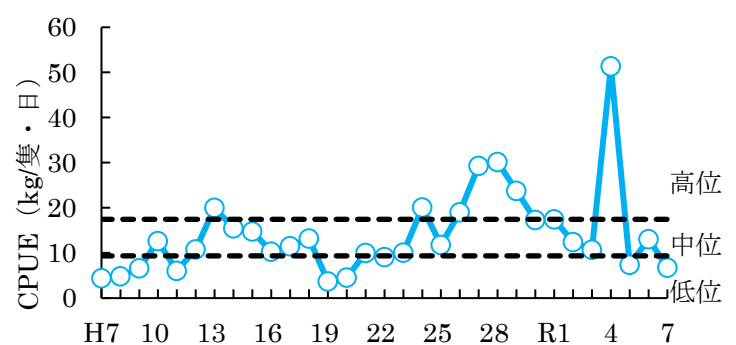


図3 ババガレイの CPUE (底曳網)

【全国の漁獲動向】

主な産地は、青森県、岩手県、宮城県にかけてである。

評価期間：令和7年1月～12月

更新日：令和8年3月13日